

JR TT共有船ニュースレター (VOL3)

ツーリズムEXPOジャパン2022に出展しました

2022年9月22日～9月25日まで、有明の東京ビッグサイトで行われましたツーリズムEXPOジャパン2022の海事観光プロモーション「#海があるから」ブースに共同出展しました。

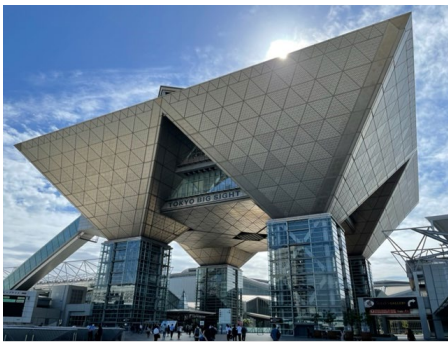
4日間のうち、前半の2日間は旅行業界へのビジネス向け、後半の2日間が一般公開だったのですが、一般公開の初日にはあまりにもたくさんのお客様が並ばれたため、10時開始を10分早めて入場を促したほどでした。

「#海があるから」ブース横に設置されたミニステージでは、共同出展者により毎日、順次6団体ずつのプレゼンテーションと景品の抽選があり、ペア乗船券が当たったお客様の嬉しそうな笑顔も見る事が出来ました。

共同出展団体名(順不同敬称略)

国土交通省海事局(C to Sea プロジェクト)／内閣府総合海洋政策推進事務局／独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 JR TT／東海汽船株式会社／小笠原海運株式会社／マルエーフェリー株式会社／マリックスライン株式会社／熊本フェリー株式会社／宮崎カーフェリー株式会社／野母商船株式会社／阪九フェリー株式会社／株式会社 名門大洋フェリー／瀬戸内海汽船株式会社／西日本旅客鉄道株式会社

共有船に乗りたくなる、素敵なイベントでした。⇒詳しくは、[こちら](#)



快晴の東京ビッグサイト



鉄道・運輸機構のブース



国土交通省海事局「海マジ」の紹介クルージングがオトクになります



機構ブースがドワンゴのニコニコ動画の取材を受けました



菅義偉前首相も、「#海があるから」ブースへ立ち寄られました



西九州新幹線「かもめ」の開業始発列車の動画は、子供達に大人気



鉄道・運輸機構のプレゼン



長崎市の田上市長のインタビューを流しました



一般の方が質問しやすいように、鉄道・運輸機構の法被を着ました

ツーリズムEXPOジャパン2022 ~各ブースとプレゼン~

来場者数は9/22(木) 曇り 24,794人、9/23(金・祝) 曇り時々雨 18,811人、9/24(土)は台風15号の影響より雷雨でしたが40,483人、9/25(日) 晴れ 39,986人の合計124,074人でした。日本国内のブースでは北海道、そして沖縄が人気のようでした。

ビジネス目的の外国人受け入れが一部緩和されたことにより、機構のブースにもネパール、オーストラリア、イラン、アメリカ、ニュージーランドなど各国の旅行業に携わる方々が訪れてくださいました。

10月11日からの水際対策のさらなる緩和により、ますます外国人観光客が戻ると思います。今年後半の観光業の復活へ、熱い期待が感じられる展示会でした。
(女性記者 N.K)



元共有船「ガリンコ号Ⅱ」は流水を観光する砕氷船として、今も活躍中



マルエフェリー(株)の共有船「フェリー波之上」「フェリーあけぼの」



小笠原海運(株)のプレゼンは雄大な自然をアピールした後に、共有船「おがさわら丸」を紹介



ソウル観光財団の入り口にあったBTSのフォトブース



マリックスライン(株)共有船「クイーンコーラルクロス」のカラフルな船内



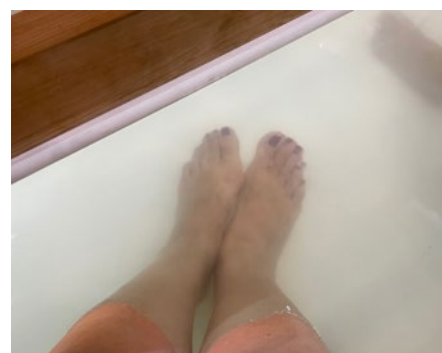
瀬戸内海汽船(株)共有船「シーパセオ」のプレゼン



新門司港～大阪南港まで共有船2隻が運航する(株)名門大洋フェリーの航路



北海道のブースは大人気



毎日、奥下田から運んで来ていた観音温泉の足湯

共有船乗船記VOL.3 ~岡山県・笠岡諸島編~

本コーナーでは、日本全国、津々浦々で活躍している共有船をご紹介します!

2022年10月4日、三洋汽船(株)の新造船「つむぎ」が岡山県笠岡市でお披露目されました。JRTTを代表して就航式に臨席後、同社の「ニューおおとり」と「ニューかさおか」に乗船し、笠岡諸島を周遊してきました。

新造船「つむぎ」は、「島の人々の幸せと未来をつむぐ」という願いを込めての命名。高齢化が進む島民のためにバリアフリー機能が充実され、灯油缶やプロパンボンベなどの燃料の積み込み場所も設けられるなど、島民の生活に欠かせない新たな交通手段として期待が寄せられています。

また、笠岡諸島を含む瀬戸内備讃諸島は、2019年に「悠久の時間が流れる石の島」として日本遺産に認定されています。400年に渡って産出されてきた花崗岩の巨石と石切り技術は、大阪城の石垣や、日本銀行本店、靖国神社の大鳥居にも使われるなど、日本の建築文化を支えてきました。島々には、巨岩・奇岩の自然景観が見られるだけでなく、石にまつわる信仰や生活文化、芸能が今でも継承されています。⇒[日本遺産ポータルサイト\(文科省HP\)](#)はこちら

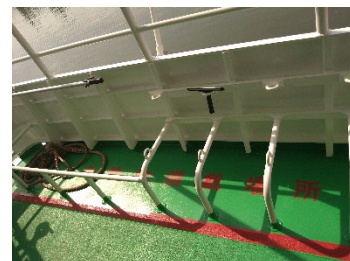
このような笠岡諸島を「ぷりんす」「ニューおおとり」(以上2隻は元共有船)「ニューかさおか」、「しおじ」(以上2隻は共有船)などが運航しており、今回「つむぎ」が就航して利便性が更に高まります。皆さんも「石の島」笠岡諸島に行ってみませんか?
(男性記者 T. I)



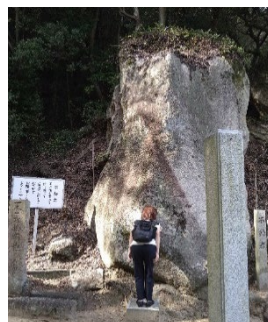
新造船「つむぎ」は、10月16日から運航予定



最新の安全設備を備えた操舵室



船内に危険物の積み込み場所を設けるのは大変だったとのこと



あちこちに立派な石碑が設置されていました

岩の窪み(右)に額を当てて、願い事を3回唱えると叶うという開龍寺の「不動岩」(白石島)



北木島はお笑い芸人の千鳥・大悟の出身地



笠岡ラーメンは鳥ガラ醤油味であっさり系



帰路、習熟運転中の「つむぎ」とすれ違いました。御安航を祈ります

共有船関係者からの寄稿 ～長崎県五島市～

JRTT共有船部門の業務活動に関わりがある、福岡財務支局長崎財務事務所長(兼長崎市観光大使)の**木場 和彦(こば かずひこ)**様に「離島航路の思い出」について、ご寄稿をいただきました。

木場様、ご寄稿どうもありがとうございました。

高校を卒業するまで長崎県五島市で生まれ育ちました。「島の数日本一」の長崎県にあって、離島航路が島民の生活や仕事に必要なライフラインであり、航路の維持や船舶の老朽化などの課題解決に向けては、船舶共有建造制度などを通じて国と地方の「つなぎ役」として、引き続き貢献していきたいと考えています。

さて、離島航路の思い出といえば、真っ先に思い浮かぶのが毎年3月の風物詩ともなっている『**港での見送り**』です。五島市では高校を卒業すると9割近くの生徒が進学や就職で島を離れますので、友人や親戚などたくさんの方が港に集まって紙テープを片手に「蛍の光」でフェリーが見えなくなるまで見送ります。私も涙を流しながら(時々)海に飛び込んで、島を離れる先生や先輩を見送っていました。



港での見送り

苦い思い出としては『**船酔い**』があります。高校時代までは修学旅行や部活遠征などで長崎市へフェリーで渡っていましたが、乗船の数時間前に早めの食事を摂り、船酔いに耐えながら何とか乗り切っていました。ところが、最近の帰省では、私や子供も含めて船酔いしている人を余り見かけなくなり、快適な船旅を楽しめています。フィンスタビライザーの搭載などで快適性が向上しているようで、技術の進歩を有難く感じているところです。

フェリーでのお気に入りは『**船首の展望デッキ**』です。潮風に当たりながら、目の前に広がる海原や島影を眺めていると心の癒しになります。福江島のシンボル「鬼岳」が視界に入ると、「帰って来た!」という感動が込み上げて来るものをこの歳になって感じています。



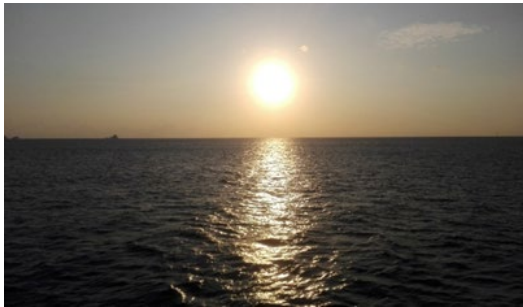
船首の展望デッキ



福江島のシンボル「鬼岳」

共有船関係者からの寄稿 ～長崎県五島市～

人口減少や少子高齢化など離島の課題は尽きませんが、長崎県では西九州新幹線の開業で交流人口の増加が期待されているほか、地元の五島市はNHK朝ドラのロケ地となるなど、明るい話題もあります。フェリーでのスローな船旅を通じて、「島の数日本一」である長崎県の魅力が全国に伝わり、離島も含めて広く地域経済が活性化することを願っています。



絶景!



福江島から長崎港までカーフェリーで4時間25分(99.3km)の船旅です



フェリーにて

JRTTからのお知らせ

OJRTTは公式YouTubeチャンネルを開設しています!

JRTTで行っている整備新幹線、都市鉄道、船舶等の貴重な映像も公開しています。是非ご覧ください。

アクセスは https://www.youtube.com/c/jrtt_official

またはQRコードよりお願いします。

OJRTTは公式Twitterを開設しています!

Twitterを通じJRTTの様々な情報を発信してまいります。

アクセスは https://twitter.com/JRTT_PR

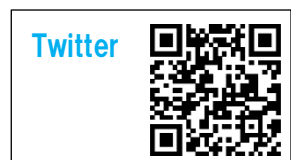
またはQRコードよりお願いします。



船旅王子



離島航路姫



○建造中または運航されている共有船について記事の掲載をご希望される際には、下記の問合せ先までご連絡ください。

編集担当者のひとりごと

先日、K-POPアーティスト「BTS」のコンサートが無料で生配信され、世界229カ国、約4,907万人が視聴したという記事を見ました。いまさらながらネット配信の強さを感じました。

当該ニュースレターが配信を続けるにあたり、先ずタイトル→写真→記事閲覧などからフォロワーを増やすことをめざしています。

今3号は、はじめて外部から長崎県の航路についての寄稿をいただきました。ありがとうございます。なお、離島が日本一多い長崎県は、九州本土の西端に位置し、東シナ海、日本海に面した複雑で美しい海岸や島で形成され、西九州新幹線開通で利便性が増したことから離島船旅のすすめエリアです。今後も様々な魅力がたくさん詰まった航路情報などの寄稿をお待ちしています。(男性記者 T.S)

■本ニュースレターに関するお問合せ先

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 共有船舶企画管理部 企画課
TEL:045-222-9129

※本ニュースレターは令和4年9月末日時点の情報を基に作成しています。